

暮らしを守る(その1)

「阿蘇山直轄砂防事業」

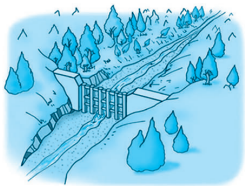
【砂防ダム：西湯浦川1】

○ 整備の状況

土石流の発生する可能性が高い溪流に、さほうえんてい砂防堰堤などの施設整備を行うなど、集落等への直接的な被害の防止・軽減を図ることを目的とした、地域の安全を守るための取組みです。

現在、阿蘇地域では、平成30年度から19箇所（阿蘇市内は10箇所）で整備が進められています。

透過型砂防堰堤



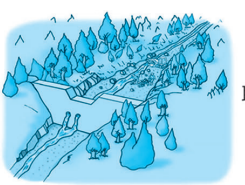
取り除く

透過型砂防堰堤を設けた場合でも、普段は、水と土砂は同じように下流に流れていきます。

たまる

大雨が降り土石流が発生したとき、大きな岩、流木などを含む土砂は、堰堤に引っかかり止まります。

不透過型砂防堰堤



取り除く

不透過型砂防堰堤を設けると、堰堤の上流側に土砂が少しずつたまっていきます。土砂をためる量を確保するため、取り除くこともあります。

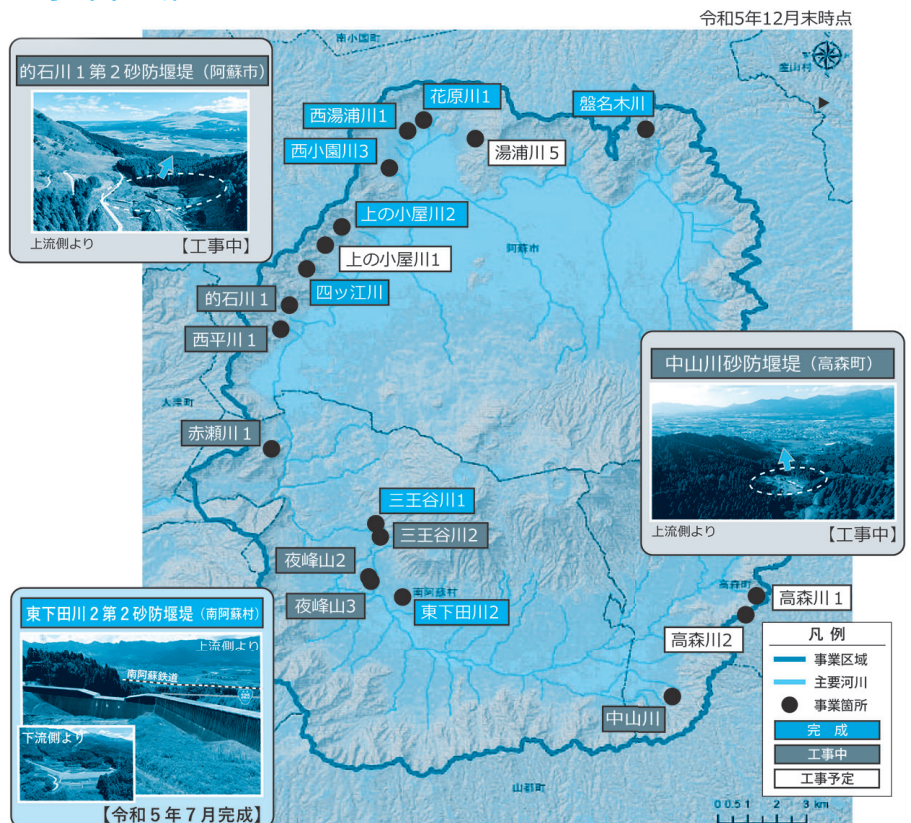
たまる

大雨が降り土石流が発生したとき、堰堤は大きな岩や流木などを含む土砂をため、下流への被害を防ぎます。

阿蘇山直轄砂防事業

事業期間	平成30年～令和9年（予定）
全体事業費	約256億円
事業内容	砂防堰堤等25施設程度を予定

事業区域



国交省HP：www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto_r/erosion02.html

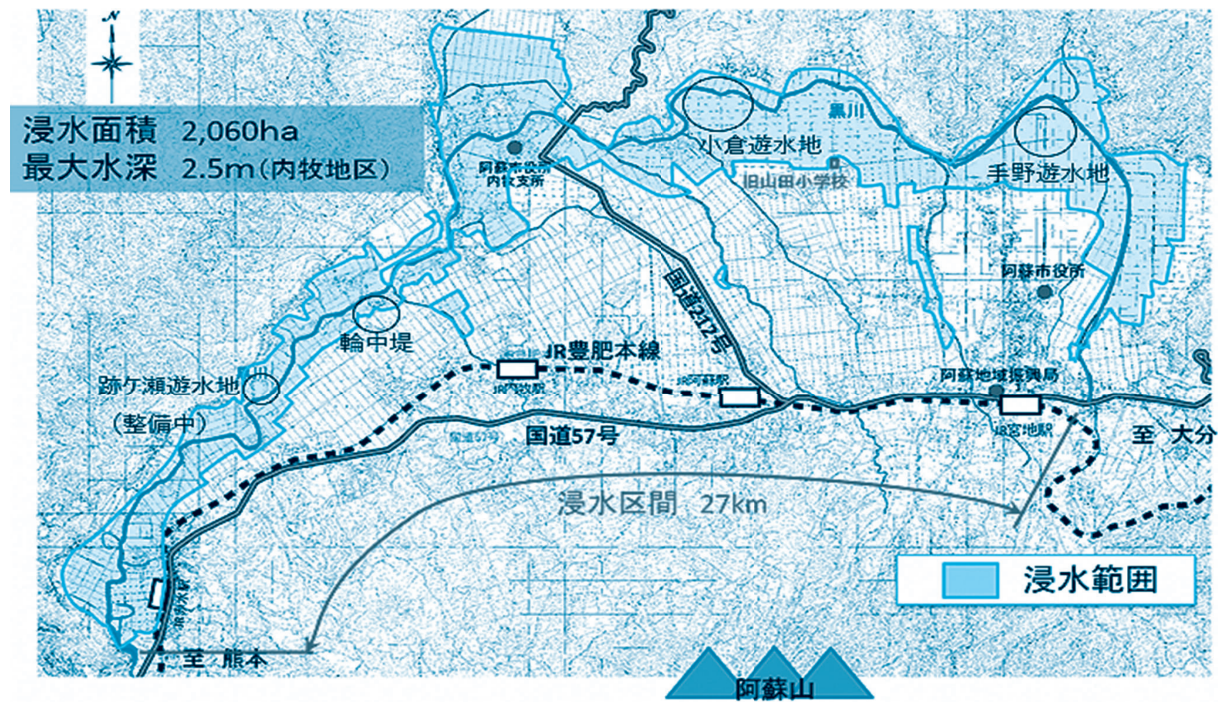
暮らしを守る(その2)

「黒川河川激甚災害対策特別緊急事業」

○ 整備の状況

阿蘇市内の激特事業は、家屋の浸水被害の解消を整備目標としています。
 これまで、宅地嵩上げ、小倉遊水地、手野遊水地、河道掘削、輪中堤等の整備が実施されました。
 現在は激特事業とは別に、跡ヶ瀬遊水地が整備されています。

■ H24 熊本広域大水害の浸水範囲



河道改修 (内牧地区)

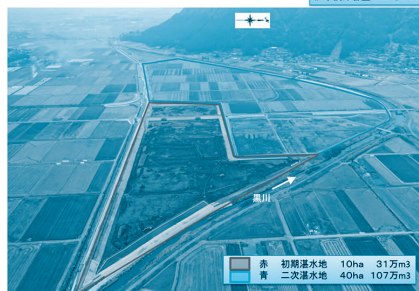
- 河川断面を16%拡大
- 石積み護岸、遊歩道設置

事業費 約 50億円
 整備延長 L=2km



手野遊水地

事業費 約57億円
 遊水地面積 50ha
 洪水調節容量 138万m³



輪中堤 (狩尾地区)

狩尾地区
 事業費 約10億円
 面積 約19ha
 保全戸数 52戸



資料：熊本県